

炭素繊維CFRP、話題に

NPO法人元氣農業開発機構

アグリビジネス創出フェア2015、盛大に開催

来場者3万5千人に

研究連携も順調に進む

農林水産省主催のアグリビジネス創出フェアが11月18日から20日までの3日間、東京ビッグサイトにおいて盛大に開催された。3日間で34,860名が来場した。このイベントにNPO法人元氣農業開発機構(古瀬洋一郎理事長)も4小間、1デー2小間に出演した。



森山農相

NPO法人元氣農業開発機構は、八ヶ岳フォーラムをメインテーマとし

て、参加企業中心に展示、事務局本部も設置してPRに力を注いだ。初日に農林水産省大臣官房技術総括審議官兼農林水産技術会議事務局長の西郷正道氏はじめ同局研究総務官の菱沼義久氏などが視察に。2日目に

は前農林水産大臣の林芳正参議院議員がNPO法人元氣農業開発機構の小間に。サクラ化学工業の炭素繊維CFRPのビニールハウスを見て「オランダに施設型を視察に行ってきたが、このようなハウスを作る日本は

技術はたいしたものだと語っていた。単独で「一般社団法人森花ジャパン」が初めて出展。若い女性2人が和服姿で来場者へパンフレット等を配布し、PRした。

また、初日のセミナーで農業生産法人日本豊受自然農園の由井重子代表が講演。静岡県函南と北海道洞爺で自然農を实践し、農産物の加工などを

行い、東京・世田谷の用賀にオーガニックレストランを開いていることなどを語った。農の復権を力強く訴えていた。

最終日のセミナーではサクラ化学工業の炭素繊維CFRPの説明、八ヶ岳フォーラムについてNPO法人元氣農業開発機構の坂本幸資副理事長が説明した。

各出展者はそれぞれ手土産があり、色々と工夫を凝らしているところと共同研究の約束もあり、満足なイベントであった」と話していた。

アグリビジネス創出フェア2015は、全国の産学の各機関の有する農林水産・食品分野などの最新技術や研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介

し、研究機関間や研究機関と事業者との連携を促す場として開催する「技術・交流会」である。

これらのビニールハウスは、実用新案登録ナンバー、3193288号にて、関西電力の100%子会社である日本ネットワークサポート株式と共同出願で登録しました。

(サクラ化学工業の概要を説明)略

熊本県に設置した実例写真をご覧いただきたく、FRPには当社は長年の経験がありますが、農地に設置をするという

ことは経験もなく初めてで、色々と試行錯誤した結果、完成したものです。現在は太陽光パネルはついておりません。先日の台風でもヒックともしない、充分に強くて軽いビニールが完成したと思っております。中で栽培する作物はアスパラガスと聞いております。

次は熊本県で設置した天井の高い間口の広い、

拡大に力を注いでいた。農林水産省の幹部も続々と来場。花の振興法に携わった農林水産大臣官房技術総括審議官兼農林水産技術会議事務局長の西郷正道氏も来場し、森花ジャパンの小間で記念写真に納まっていた。

12月17日午後3時から内幸町のプレスセンター内にある日本記者クラブにおいて設立総会を開催する。

FRPを使った、内部に支柱も少なくして、十分に強度を確保したビニールハウスの実例写真です。中では各種の農業機械で作業できるスペースが確保出来ております。

次は、共同出願している(株)日本ネットワークサポートの度NSスパイクの方タロクの写真です。このNSスパイクをビニールハウスの基礎に使用しております。NSスパイクとは、ねじり平鋼杭補強材による地盤補強工法です。

次に、農林水産省に採択された「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」のプロシエクトの概要です。群馬県吉岡町に実証ハウスを建設する予定です。

また、NPO法人元氣農業開発機構が進めている八ヶ岳フォーラムにおいて、八ヶ岳中央農業実践大学の圃場に建設して新しい栽培方法の実証試験等を行うことになっております。



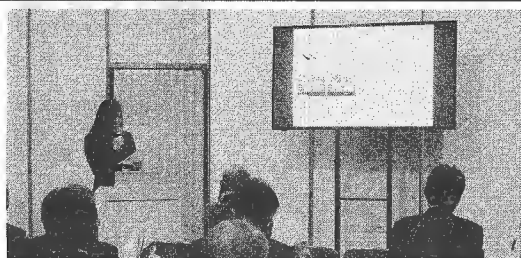
アグリビジネス創出フェアで森山農相が出席、挨拶の後、テープカット



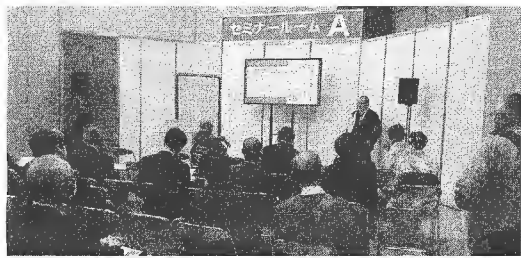
林芳正前農相、元氣農業の小間に



開会レセプションで農水省の田中産学連携室長と記念写真に納まる元氣農業のメンバー



炭素繊維CFRPのビニールハウスを説明するサクラ化学工業の三村さん



八ヶ岳フォーラムについて説明するNPO法人元氣農業開発機構の坂本副理事長



森花ジャパンの小間で西郷技術総括審議官兼局長と記念撮影